

# 変わり、終わり、はじまり

## オリエンテリングマガジン 100 号に向けてカウントダウン

オリエンテリングマガジン 2016 年 6 月号は定期発行できず、6/8 月合併号となってしまいました。

### 申し訳ございません

発行が大幅に遅れてしまって購読者の皆さんには大変申し訳ありませんでした。

また原稿を準備して下さったかた、マガジン印刷、配送に関わって下さったかたにもご迷惑をおかけしました。

オリエンテリングマガジンでは記事、編集、印刷、配送という工程があり私・木村が編集部分を担当しています。今まで、自分の時間の合間を使ってこの作業を行ってきました。

今回のマガジン 6 月号ではどうしてもその時間が捻出できなくて、ずるずる遅れてしまいました。

このオリエンテリングマガジンは商業誌ではなく、ミニコミ誌。ベストエフォートでの発行体制となっていることはある程度仕方ないのですが、それにしても発行が遅れ過ぎて、苦し紛れに 6 月・8 月合併号という形になりました。

定期購読していただいている皆さんにとってみれば商業誌・ミニコミ誌という区別は関係なく、あくまでも発行側の言い訳に過ぎないことは理解しているつもりです。

この発行の遅れは財務的な問題ではなく、単純にマンパワーの問題です。

### 終わるマガジンの役割

遅延の理由はありあしたが、最も大きな理由はオリエンテリングマガジンの発行モチベーションが低下していることです。2000 年に必要性を感じて始まったオリエンテリングマガジンですが、その役割はほぼ終わりました。

始まりがあれば必ず終わりがあります。その時期を迎えたと感じています。

### マガジン創刊時の理念

オリエンテリングマガジンの創刊準備号に創刊の目的を書いています。もう一度振り返ってみましょう。

オリエンテリングの専門誌であった「O-JAPAN」が休刊になって 2 年半になり、日本国内ではオリエンテリングの情報が通いにくくなっています。そこで私たちオリエンテリング愛好家が中心となり、オリエンテリングの情報誌「オリエンテリングマガジン」を自分たちの力で創刊しようとしております。

オリエンテリング界の豊富な話題をタイムリーに提供するとともに、オリエンティアの声を吸い上げる場として生かしていきます。

すでに愛好家の個人的な努力によって発行されていた「O-Forum」、「スコードニュース」、「Orienteering Guide」を新規創刊の「オリエンテリングマガジン」合流させるとともに、時の話題を提供します。また要綱の同封サービスを行う予定です。

(2000 年 4 月)

### ネット情報の社会へ

2000 年当時、すでにインターネットが民間にも広まってきた時期でした。私が運営する orienteering.com サーバはすでに大会情報の広報を開始していました。

しかしまだまだ紙媒体でしか出回らない大会募集要項が多数ありました。インターネットにアクセスできないかたも多かった時代です。もちろんスマートホンはありませんでした。こんな時代ではまだまだ紙媒体マガジンの需要は多い状況でした。

2016 年現在、状況は変わりました。もはや紙媒体での要項は少なく、ネット上だけにしか要項が存在しない大会が大多数となりました。大会を調べるのも、インターネット。今では orienteering.com に掲載されていないオリエンテリング大会は参加者が公募されていないのと同じくらいの意味になっています。

スマートホンは普及率が 50% を超えました。新聞と同じくらいの料金で利用できます。

ネット社会をさらに進歩させたのが SNS の台頭。フェイスブック、ツイッターで誰もが大規模に情報発信を行える時代になりました。ライン、スカイプ、インスタグラムによる草の根情報交換が革命的に進みました。

こうした中、紙媒体であるオリエンテリングマガジンの発行意味は少なくなりました。ただひとつマガジンには記事としてのまとまった紙面になっ

ていることが最大の価値となり、紙であることより記事のアーカイブやネット配信に辛うじて価値を見出しています。

### 編集メンバーの環境

この間にメンバーをとりまく環境も大きく変わりました。創刊時に草の根的なオピニオンリーダーだったマガジンの記者や編集者は、各組織の世代交代とともに要職へと就きました。今では日本オリエンテリング協会、各地方組織で活動するようになりました。各組織から発信する情報の「中の人」になっています。

かくいう私・木村も住んでいる地域からの需要に応じて、地図を使った地域イベントを開催しています。前回のマガジン 4 月号発行後、今回のマガジン 6/8 月合併号発行までの間に、数えてみると 8 大会をプロデュースしていました。

### 変わろう

メンバーのリソースをオリエンテリングマガジン発行からネット発信、イベントプロモーションに切り替えます。そのためにオリエンテリングマガジンは 100 号をもって終刊します。

終刊に向けての案内はこのマガジンの巻末付近に掲載します。

100 号終刊は 80 号あたりからぼんやりと考えていたのですが、すでに 4 年継続者の購読期限が 100 号を超えていたのでそのままになっていました。しかしながら現実的に回らない状況が発生してしまった以上、先延ばしはできないと判断しました。

あと半年ほどですが、100 号目指してマガジンを発行してゆきます。

今まで寄稿していただいた記事は、それぞれの記者から形を変えてネットで配信されてゆくことになるでしょう。

このような状況でも購読を続けてくださった皆様に、あらためて御礼申し上げます。ご不便をおかけしますがご理解をお願いします。

(木村佳司)